

# 国語 言語力の育成と活用を通して



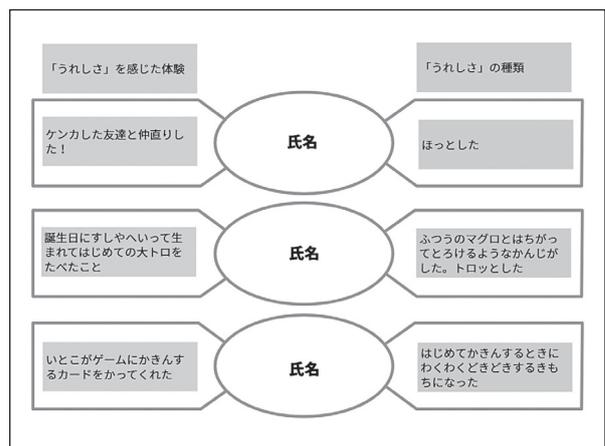
POINT |  
知・技

## 豊富な語彙の獲得を目指した授業実践

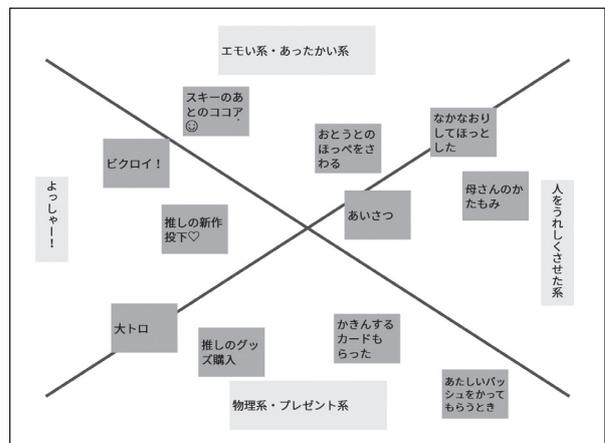
「思考力、判断力、表現力等」を育てる上では、国語科に限らず多くの教科や学習活動において「思考の言語化」というプロセスを避けることはできないだろう。その言語化の段階で、いわばツールとしての役割を果たすのが「語彙」であろう。深く思考し豊かに表現する活動を目指すに当たって、豊富な語彙を身に付けることは、論理的に思考する力や適切に表現する力を高めることに寄与しているのではないだろうか。ここでは、思考力や表現力の向上を目指した活動の工夫の下支えとして、複線的な学びの中で語彙を増やす工夫を紹介する。

### ICTを活用した哲学対話

教育出版の教科書教材の1つに、哲学対話がある。「うれしさ」をテーマに対話を行う活動で、対話のルールや進め方を学ぶ重要な学習である。語彙力を身に付ける上で有効と思われる「言い換え」の活動を取り入れ、「うれしい」という言葉に代わる同義語や類義語をじっくり考えられる単元であるが、子どもによってはうまく話せないうちにグループの議論が進んでしまったり、グループ内の対話が思うようにいかずに止まってしまったりといったことも想定される。これらの問題を解消するには、ICTの活用が効果的ではないだろうか。右図にあるように共同編集機能を生かして他者参照したり、あるいは複線的にインターネットを活用したりすることで、スムーズに対話の準備を進め、より深く話し合いの活動ができるのではないかと考える。



【グループでシンキングツールを共同編集】



【対話後に、うれしさをカテゴライズする】

このような活動を通して、子どもがインターネットや国語辞典から主体的に言葉を探す様子や、他者との交流の中からより適切な表現を探す様子など、改めて言葉に向き合おうとする姿が見られた。このように、多くの言葉に触れる機会を設定し、自らの経験や考えと結び付けて使うことによって、思考力、判断力、表現力等の幅を広げつつ新たな語彙を獲得することができたと考えられる。

# 思考力・感受性を高める授業づくり

音更町立鈴蘭小学校 教諭 中村 俊太



小学校4学年

小学校6学年

中学校2学年

POINT 2  
思・判・表

## 伝統的な言語文化に親しむための活動例

伝統的な言語文化の学習は、子どもにとって退屈なものになりやすいだろう。その要因としては、言い回しの古さに慣れていなかったり、日常との結び付きが薄く主体的に学べなかったりといったことが考えられる。しかし、国語のよさはその伝統や古さの中にも息づいており、言葉を取り巻く環境が目まぐるしく変化する現代においてこそ、伝統的な言語文化に内在する感性の豊かさや巧みな表現技法に学ぶべき点は多いのではないだろうか。

そこで、ここではその特性に目を向けつつ、現代社会を生きる子どもが主体性をもって伝統的な言語文化に親しむことを目指した活動を紹介する。

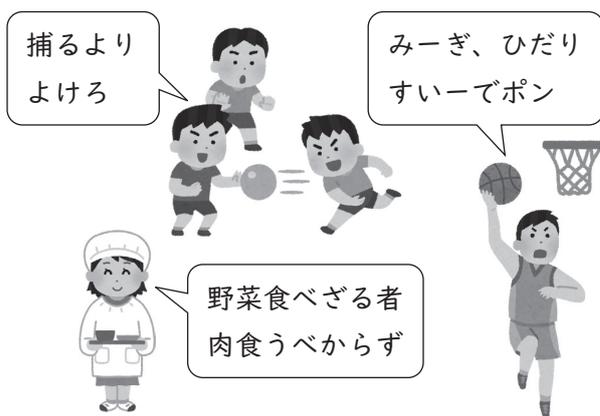
### 1 俳句名人チャレンジ

子どもが見つけたプロの俳句作品とオリジナルの俳句作品を並べて提示し、どちらがプロのものかを当てる活動を行った。個人やグループで表現技法や描写の工夫を探しながら、俳句を詠んだり考えたりすることで、書籍やICTを活用して主体的に作品を収集する姿や、限られた音数の中で言葉をやりくりしようと前向きに悩む様子が見られた。子どもの人数が少ない場合やうまく俳句を作ることが難しい場合は、担任が用意したプロの作品群の中に子どもの作品を数点だけ混ぜることで、取組の設定を調整することもできるだろう。短歌の学習などでも応用ができ、伝統的な言語文化のよさや表現の魅力に気付くことができる活動になると考える。

### 2 「知恵の言葉」を作ろう

「はじめちよろちよろ なかぱっぱ」のような物事の極意(コツ)や、「笑う門には福来る」のようなことわざをはじめ、教訓やおまじない、暗記法に至るまで、日本語には多くの「知恵の言葉」が存在する。それらの多くは特徴的な語感やリズム感を持ち、耳によくなじむような工夫が凝らされている。

子どもが自らの得意分野を生かし、それを他者へ伝えるための言葉を作るという活動では、それまで無意識で行っていた思考・行動を見つめ直して言語化するというプロセスが生じるだろう。最適な言葉を探したり、端的にまとめたりする活動の中で、改めて先人の知恵や日本語のよさに触れながら、「思考の言語化」の楽しさや難しさに目を向けることが期待できる。



【子どもが作った「知恵の言葉」】

いずれの活動でも、子どもが「楽しそう」「これならできそう」と感じられるレベルを設定しつつ、身に付けさせたい力を教師が明確に意識して計画的に指導する必要があるだろう。